

都内公立学校における令和2年度昇任者の平均年齢

	小学校	中学校	都立学校
校長	54.2歳 (最年少 45歳)	54.4歳 (最年少 43歳)	56.4歳 (最年少 45歳)
副校長	48.3歳 (最年少 39歳)	49.4歳 (最年少 42歳)	48.7歳 (最年少 39歳)

年齢は令和2年度末時点

学校管理職昇任年齢の高齢化

未来の東京を担うこれからの学校づくりには、**若い管理職**が必要です！

コラム

教育管理職の魅力ややりがい

～ Role Model Interview より ～

現在、商業高校は都立高校改革の一環でビジネス科に改編し、教育課程の改善を図っている最中です。校長も先頭に立って、授業で連携してくれる企業や大学、専門学校などの開拓を行っています。改革3年目を迎えて、ようやく新しい授業の形が固まりつつあります。新たな授業にチャレンジしようと頑張る教職員の姿にいつも元気をもらい職務に取り組んでいます。

都立学校校長 (A 選考合格)

経営方針を踏まえ、その実現に向けて学校組織をどのように作り、どのように動かしているのかを常に考えて仕事をしています。多くの保護者や地域の方々と連携して作りあげた教育活動により、生徒の成長や先生方の指導力、学校としての教育力が向上したときに、管理職としてのやりがいを感じています。

中学校副校長 (B 選考合格)

東京都では、副校長を支えるために、**負担軽減策を導入しています。**

学校マネジメント強化モデル事業

東京都では、副校長の業務負担を軽減するために、会計年度任用職員を配置しています。一部学校では、**副校長の勤務時間が週20時間程度縮減されています。**東京都では、引き続き副校長の業務負担軽減に努めるとともに、昇任間もない副校長でも円滑に支援員を活用できるように、「支援員活用ガイド」を配布しています。

【支援員の主な業務内容】

調査・報告、サービス・施設管理、地域・保護者対応などの補助・支援 など

副校長になったら Q&A

副校長の業務軽減支援策には、他にどのようなものがありますか。

事務職員の職務内容の明確化、副校長を補佐する校内組織である経営支援部の設置（小・中学校）を促進することなどを通して、副校長の業務軽減に努めています。

副校長になると、給料はどの程度変わりますか。

平成29年度から、副校長の管理職手当が増額され、副校長の管理職手当は、1か月当たり80,700円になりました。

御質問などがある場合は、各学校の管理職にお問い合わせください。

発行元：東京都教育庁人事部職員課

東京都教育委員会印刷物登録令和2年度第5号

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

令和2年度管理職選考受験啓発リーフレット

創ってみよう

これからの学校 未来の東京

あなたのキャリアプランを考えてみませんか

東京都教育委員会

あなたに求められる資質や能力を確認しましょう！

教員は自らが生涯にわたって、資質の向上に努めることが重要です。あなたのキャリアに応じて、求められる能力や役割を確認し、「教育職員の昇任制度」を参考にして、あなたの将来のキャリアプランを右側の表に記してみましょう。

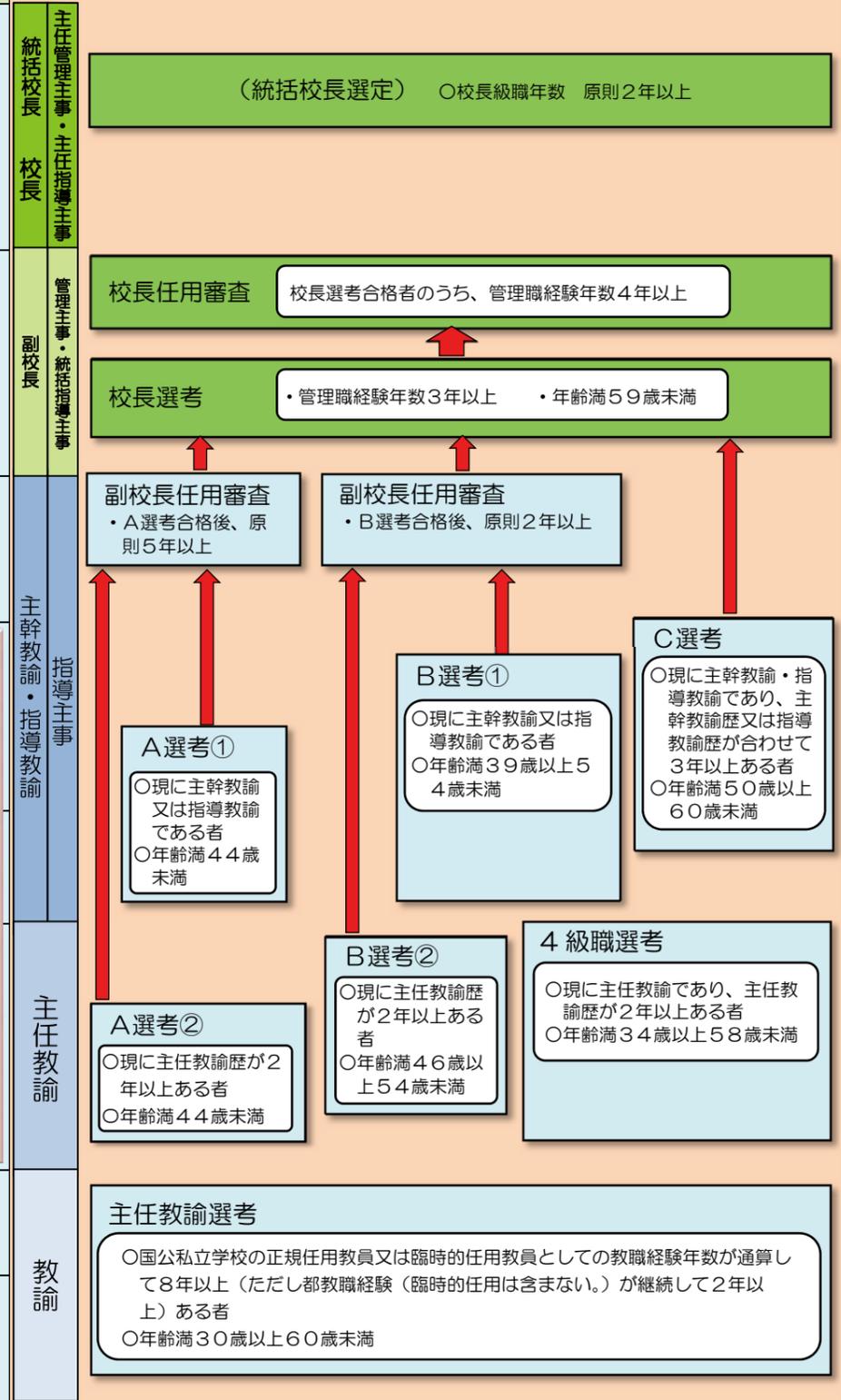
東京都立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標【求められる能力や役割】

教育管理職	校長		<ul style="list-style-type: none"> ○教育者として高い見識をもち、広い視野で学校経営ができる力を身に付けるとともに、副校長等の人材育成について責任をもち。 → 学校経営目標達成のため、学校経営上の課題を早期に把握し、課題解決のため、組織的に学校改革を推進することができる。
	副校長		<ul style="list-style-type: none"> ○学校経営の視点で、組織目標の達成や人的管理ができる力を身に付けるとともに、所属職員の人材育成について責任をもち。 → 校長の経営方針を踏まえ、学校が組織として機能するよう、全教職員を適材適所に配置して、課題を解決できる。
教員	主幹教諭	教育管理職候補者	<ul style="list-style-type: none"> ○副校長として必要な学校運営ができる力を身に付ける。 ○自校の課題について、管理職の視点から解決策を立案できる。 → 学校経営方針に基づき、担当した分掌における課題について解決策を提案し、教職員を支援・指導して課題を解決できる。
		指導教諭	<ul style="list-style-type: none"> ○学校運営組織における中心的な役割を担う。 ○管理職を補佐し、教員を育成する。 → 校務分掌全体の進行管理や分掌間の調整をするとともに、管理職と十分協議して学校運営をすることができる。
	主任教諭	充実期	<ul style="list-style-type: none"> ○校務分掌などにおける学校運営上の重要な役割を担当する。 ○主幹教諭を補佐し、職務を遂行するとともに、担当する校務分掌の職務について、同僚や若手教員への助言・支援ができる。
	教諭	伸長期	<ul style="list-style-type: none"> ○知識や経験に基づく実践力を高め、初任者等に助言する。 ○主任教諭を補佐し、分掌組織の一員として貢献する。
		基礎形成期	<ul style="list-style-type: none"> ○教員としての基礎的な力を身に付ける。 ○教職への使命感、教育公務員としての自覚を身に付ける。

学校リーダー育成期間

主任教諭昇任時より、学習指導力、生活指導力、学校経営力といった専門性を高めるとともに、**学校経営に積極的に参画する意識を高め、自己のキャリア形成について考える機会を与えるなど、将来の管理職として育成する。**

教育職員の昇任制度



あなたのキャリアプラン

年度 年齢	職層と選考 (分掌や役割)
将来	
現在	

〔記入例〕

46歳	校長
44歳	校長選考
42歳	副校長
39歳	B選考受験
	B養成講座受講
35歳	主幹教諭

「東京都立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標」
(平成29年7月 東京都教育委員会)より